

# 平成 29 年度 静岡デザイン専門学校 学校自己評価・学校関係者評価 評価報告書

## 1. 教育理念・教育目標

〈 教育理念 〉

社会に自立するために必要な人間力と高い専門技術を有する人材を育成し、地域社会に貢献する。

〈 教育目標 〉

教育基本法に則り、学校教育法に従い、服飾並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成することを目的とする。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

〈 目標・計画 〉 ※平成 29 年度実績報告書参照

—特色ある教育を実践し、高校生や企業から選ばれる学校づくりを目指す—

1. 「目標定員確保の必達に向けた募集活動を実践する。」
2. 「実践的で個性豊かな教育の展開により、競合校との差別化を図る。」
3. 「社会環境の変化に即した就職指導体制に改善し、専門職内定率を高める。」
4. 「第3期中期計画（平成29年～平成33年）につなげる各地区の構造改革を着実に実践し、5年後の「一体的な運営」のビジョンを検討する。」

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価方法： 4（適切） → 3（ほぼ適切） → 2（やや不適切） → 1（不適切）

### （1）教育理念・目標

評価欄

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4
1-2	学校における職業教育の特色は示されているか	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>4</b>
<u>成果と課題</u>		
<p>・教育理念並びに教育目標は入学時に配布される学生便覧に記載されており、入学時のオリエンテーションや5月に行うフレンドシップセミナーで入学生全員に周知している。また、学校行事の際に口頭でも伝達し、さらに教室には教育理念をスローガン化した『専門技術・知識+社会人基礎力=社会を生き抜く力』についての掲示を行い学生・教職員の目に触れる環境となっており、必要な時に想起することができる。</p>		
<u>今後の改善方策</u>		
<p>・この状況を維持するとともに、さらに徹底を図る必要がある。</p>		
<u>学校関係者 評価コメント</u>		
<p>・入学後、最初にしっかり教育理念を伝えるべきであり、継続することが大切である。</p> <p>・社会で自立する人材を育成するための取り組みがなされている。</p> <p>・抽象的な理念を具体的なスローガンにして繰り返し伝えることが理解につながる。</p>		

- ・時代ニーズへの対応、学生及び関係者に対して学校のビジョンが周知されていることは評価できる。
- ・教育理念、学校の取り組む方向性が明確であり、現状にあまえることなく将来的なビジョンを見つめている。

学校関係者評価平均 **4**

## (2) 教育活動

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	4
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
2-11	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
2-12	目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>4</b>

### 成果と課題

・文部科学省が推進する職業実践専門課程に全学科が認定された。教育課程編成委員会を年2回開催する中で企業委員からの有益な意見をカリキュラムに反映し、シラバスを改定した。学生には学生便覧として提供している。

#### ▼コンテスト入賞実績

##### 【学生入賞】

- ・静岡県 県知事褒賞 1名受賞：本校学生5年連続受賞 【静岡県】
- ・第12回全国若年者ものづくり競技大会 【中央職業能力開発協会】  
グラフィックデザイン部門 県代表1名出場 全国1位（厚生労働大臣賞）受賞
- ・第14回ACジャパン広告学生賞【ACジャパン】  
新聞広告部門 全国2位（準グランプリ）1名、優秀賞1名  
テレビCM部門 優秀賞2名 計4名入賞  
準グランプリ受賞作品は新聞五大紙全国版全面広告として7月以降に掲載予定。
- ・第55回技能五輪全国大会【厚生労働省・中央職業能力開発協会】  
県代表選抜出場 洋裁部門2名 フラワー装飾部門4名
- ・シェウウエムラ学生ヘア&メイクコンテスト2016【日本ロレアル】  
全国大会2名出場
- ・静岡新聞広告賞2016 公募部門 【静岡新聞社】  
準グランプリ1名、審査員特別賞1名 合計2名入賞
- ・第6回静岡県ものづくり競技大会 【静岡県職業能力開発協会】  
グラフィックデザイン部門 第1位1名、第3位1名 計2名入賞

- ・第16回SOHO静岡ビジネスプランコンテスト【SOHO静岡・B-nest 静岡市産学交流センター】  
学生部門 最優秀賞1グループ 優秀賞1グループ受賞
- ・花の都しずおかフラワーコンテスト【静岡県ふじのくに花の都しずおか推進協議会】  
ミニガーデン部門 金賞・銅賞 2グループ入賞  
アレンジメント部門 金賞1名、銀賞1名、銅賞1名 計3名入賞
- ・倉敷ファッションフロンティアコンテスト【倉敷ファッションフロンティア実委会】  
優秀デザイン特別賞 (3,208点中) 1名
- ・第24回浜松シティファッションコンペティション【浜松市】  
最終審査会ノミネート (3,302点中) 1名
- ・第32回全国ファッションデザイン画コンクール【文化服装学院連鎖校】  
鈴屋賞1名、佳作1名、奨励賞2名 計4名入賞
- ・第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション (静岡県)  
【一般社団法人全日本シーエム放送協会】  
優秀賞(準グランプリ) 1名、特別賞1名受賞
- ・第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション (全国)  
【一般社団法人全日本シーエム放送協会】  
優秀賞(準グランプリ) 3名、佳作3名 計6名受賞
- ・第8回SCC しずおかコピー大賞 【静岡コピーライターズクラブ】  
協賛賞2名入賞  
【学校入賞】
- ・グランシップアートコンペ2017 グランシップ館長賞【静岡県文化財団】

#### ▼企業団体との共同研究への参加実績

- ・【静岡市国際交流協会】未来のチカラプロジェクト2017「ユニバーサルデザイン」
- ・【伝馬町発展会】第12回伝馬町通り商店街・活性化プロジェクト
  - ①てんまデザイナーズバナー制作・設置
  - ②てんま夏祭り2017(浴衣ファッションショー、フラワーショーなど)
- ・【大道芸ワールドカップ in 静岡実行委員会】「クラウンスタイルコンテスト」  
グランプリ衣装制作及び当日ボランティア
- ・【呉服町名店街】大道芸キッズスペインティング運営
- ・【静岡市立静岡病院】「病院に再び花をプロジェクト」フラワー装飾 計7回
- ・【丸井静岡店】ショーウィンド及び店内ディスプレイ 夏冬計2回
- ・【アイワホームサービス(株)】SB Sリフォームプラザ内に同社とのコラボ店舗常設
- ・【静岡まつり実行委員会】「大御所花見行列」学生参加
- ・【(株)手塚プロダクション】手塚治虫キャラクターを用いた公共広告の提案
- ・【NHK静岡放送局】『ひるしず』「しずおか花便りコーナー」フラワー装飾毎週入替
- ・【SB Sテレビ】『sole いいね!』の番組セットの装飾 季節ごと入替
- ・【するが花卉卸売市場】清水港フラワーショー フラワーショップ運営
- ・【静岡県家具工業組合】シズオカ[KAGU]メッセ 作品ブース運営
- ・【タミヤ】クリスマスフェスタ 各種ワークショップ運営
- ・【I Love しずおか協議会】「しずおか”おまち”サンタパレード」参加
- ・【静岡県茶商工業協同組合】新茶イベント「彩茶」企画運営
- ・【SSKフーズ】御幸町ウィンドウディスプレイ制作
- ・【SHIZUOKA109・FORTE】「girls walk in SHIZUOKA」ファッションショー実施
- ・【パティスリーリアン】塗装工場倉庫をケーキ屋ヘリノバージョンのインテリア提案

- ・【CCC静岡文化クリエイティブ振興センター】  
七間町ハプニング2コンテンポラリーダンス「tzudoï」衣装協力
- ・【静岡ペパル展実行委員会】展示会場フォトスペース制作

他

▼各種デザイン・作品の採用実績

- ・【戸田書店】ブックカバーデザイン（限定12万部配布）
- ・【大道芸ワールドカップ実行委員会】2016公式ポスターデザイン(全国版/市内版)・  
チラシデザイン
- ・【静岡県舞台芸術センター（SPAC）】中高生鑑賞事業パンフレット制作 5演目
- ・【静岡市】静岡市リバウエル井川スキー場ポスターデザイン
- ・【静岡市】燃料電池自動車ラッピングデザイン
- ・【静岡市国際交流協会】異文化コミュニケーション体験フェアポスターデザイン
- ・【静岡サンバカーニバル実行委員会】サンバカーニバルポスター&Tシャツイラスト
- ・【静岡鉄道】日吉町駅マナー看板デザイン 2作品
- ・【静岡鉄道】新型車両マナーアップデジタルサイネージ制作
- ・【静岡マルイ&モディ】開店1周年記念キービジュアルデザイン
- ・【静岡商工会議所】「きもはぎ」ロゴデザイン&販売促進提案
- ・【静岡トヨタ】ハイブリッド車取り扱い20周年ロゴマークデザイン

他

今後の改善方策

- ・数多くの依頼が外部から舞い込むため、授業枠の中だけでは対応できなくなっている。チャレンジプログラム制度を活用し、学生にとって有益なものについては、自主的な取り組みを促したり、部活の中で取り組んだりするなど後押しをする。
- ・上位層の活躍の場を広げる。
- ・新任教員研修プログラムを軌道に乗せ、早期戦力化を図る。

学校関係者 評価コメント

- ・専門的な指導者が充実しているのは良いことだが、教育方針がバラつかないようにしていただきたい。
- ・目標に達しない学生へのフォローができていることは評価できる。
- ・多くのコンテストで入賞を果たしており、十分な成果が上がっていると感じる。外部への成果の発信をさらに充実させて入学者アップにつなげていただきたい。特に他校との差別化を図ることが今後重要になる。
- ・各企業・団体・組合との連携活動において高く評価されている。
- ・職業実践専門課程の全学科認定、企業や団体とのコラボレーション、外部講師の積極的な登用など、高度でより実践的なカリキュラムが構成されている点は評価できる。
- ・グラフィックデザイン科以外の活躍の場が広がるとさらに良い。

学校関係者評価平均

4

(3) 教育成果

3-1	就職率の向上が図られているか	4
3-2	資格取得率の向上が図られているか	4
3-3	退学率の低減が図られているか	4
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4

成果と課題

- ・就職率の向上を図るため、全教職員が一丸となって指導にあたっている。本年度も前年に引き続き、履修した分野に関わる業種・業態に就職した学生の関連分野就職率は昨年より0.3ポイントUPの96%となった。
- ・資格取得に対しては、各学科が計画的に授業を構成し指導にあたっている。ほぼ昨年並みの取得率を確保した。
- ・退学率低減のために、個別面談を行い早期に学生が抱えている問題を解決するよう努めた。年度末の退学率は5.4%となり、目標の6.5%以内に抑えるとともに昨年の7.8%を下回ることができた。
- ・新聞やSNS等による情報発信を注視しながら、卒業生の活動を確認している。また、本校の施設であるデザインファーム等を利用して個展などを開催する卒業生も多数あり。

今後の改善方策

- ・就職活動が企業等によりばらつきがあるので、動向を確認しながら適切に指導していく。
- ・退学率を低減させるために、学生並びに保護者とのコミュニケーションを一層密にとるようにする。休んだ時には必ず声掛けを行い、常に状況の把握をするよう務める。
- ・複数のSNSを活用した卒業生とコミュニケーションを工夫し、相互の協力体制をシームレスになるよう工夫する。

学校関係者 評価コメント

- ・90周年の同窓会の参加が少なく感じた。卒業生には「シズデ」との繋がりが強い人とそうでない人がいる。
- ・学生一人一人と向き合うという指導体制を今後も充実させ、「学生を大切にする」学校であるという事を、保護者及び入学予定者に発信していただきたい。
- ・世間一般、就職して1～2年後の離職率が高い。1～2年程度の追跡調査ができれば、就職指導の参考になる。
- ・人材不足で、就活に有利な状況にある中、学生達が専門性を活かして、より高い目標に向かって挑戦できる環境を整えていくことが望まれる。
- ・教職員の指導、課題解決に向けた取り組みが、退学率の低下と就職率の向上という成果に現れている。
- ・学生の将来を真剣に考え、学校を休みがちな学生への対応に愛を感じる。

(4) 学生支援

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
4-5	保護者と適切に連携しているか	4
4-6	卒業生への支援体制はあるか	4
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
4-8	新たな求人開拓の努力はしているか	4
4-9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学校自己評価 平均		4

成果と課題

- ・常設の進路指導室を設置し、学生の就職相談には常時対応している。専任職員を配置し、進路活動支援・求人開拓を行っている。校内企業ガイダンスを年1回実施し、姉妹校の開催するガイダンスについても教員を通して伝達している。

- ・学生面談は入学生に対しては、入学後早期に面談を実施している。スクールカウンセラーは、毎週火曜に来校し学生からのカウンセリング希望に対応している。また、スクールカウンセラーからの情報提供紙として『メンタルヘルス』を毎月発行し、学生及び教職員に配布している。
- ・学生の経済的側面に対する支援として、日本学生支援機構の奨学金制度・国の教育ローン等の案内を学生・保護者に対して紹介している。学校法人で取組んでいる学費サポートプランについても書面及び口頭で説明している。
- ・保護者とは、後援会総会や各種イベント開催の案内を通して学校の状況を知らせている。また、積極的にマス媒体に露出することにより、保護者に学校の活動状況を告知している。
- ・卒業生に対しては卒業後も随時就職活動支援や、アルバイト募集への協力、情報の問合せへの対応等を行っている。
- ・就職活動の新しい取り組みとして、前年度グラフィックデザイン科でポートフォリオセッションを行なった。平成29年度はこの取り組みを拡大し、プロダクトデザイン科、インテリアデザイン科も参加した。学生の作品集を一堂に並べて企業の方に見ていただくお見合いスタイルで、学生と企業のマッチングを促進させることができた。
- ・新入生フレンドシップセミナー、校内球技大会、校内ボウリング大会、ハロウィン、卒業生を送る会などの課外活動を実施している。また、クラブ活動に対しても支援を行っている。

今後の改善方策

- ・前項にもあるが、SNS を活用した卒業生とのコミュニケーションを利用し、相互の協力体制をシームレスになるよう工夫する。
- ・学生の健康管理に対する体制をより充実したものとする。

学校関係者 評価コメント

- ・ポートフォリオセッションは、学生発信ができて良い。個々のプレゼン力、自信につながる。
- ・学生面談は在学中に複数回実施して、学生の変化、ニーズを早期に捉え、より良い対応につながると良い。
- ・退学率の低下は指導が行き届いた結果だと思える。
- ・学生から見て「安心」を感じられる運営体制であること、「学生ファースト」の目線が求められている。
- ・進路指導室の設置、スクールカウンセラー派遣などの取り組みがしっかりなされている。
- ・就職できなかった卒業生に対してもフォローができています。
- ・課外活動がいろいろあり、充実している。

学校関係者評価平均

4

**(5) 教育環境**

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	4
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか	4
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている	4
5-5	防災に対する体制は整備されているか	4
5-6	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4

学校自己評価 平均

4

成果と課題

- ・学生の憩いの場、自習の場として活用されている5Fラウンジのテーブル、椅子を刷新し、使いやすく居心地の良い環境を整えた。
- ・各階に設置してあるTVモニターの使用率が上がり、曜日によっては足りないこともあったため、202、402教室にTVモニターセットを追加し、利便性を高めた。

- ・403 教室（windowsPC）の机を個別タイプから全面テーブルタイプに更新し、使い勝手を向上させた。
- ・403 教室のインクジェットプリンターを更新し、大量印刷に対応できるようにし、同時にインクコストを抑えた。
- ・投影距離が短く電子黒板に対応したプロジェクターを導入し、授業、イベント等で活用されている。
- ・204 教室の棚周辺の整備を行い、収納スペースの向上と美観を整えた。
- ・入口に傘の水滴を取る器具を導入し、雨の日に校内に水滴が落ちにくい環境を整えた。
- ・校内の無線LAN設備を充実させ、各教室でのインターネット接続環境を前年度以上に向上させた。
- ・校内照明設備を全てLED照明に変更した。これにより館内がより明るくなり、合わせて省エネ効果にも繋がった。
- ・教室内で劣化の進んだ壁の張替えを行い館内の美化を推進した。
- ・すべての教室は学生に自由開放し、自習が可能な状態となっている。放課後も、月・水・金は19時、火・木は20時まで、土曜日は午前中を開放している。
- ・定期的な防災訓練の実施、保存食の備蓄など防災に対する体制は整備されている。また車椅子利用学生を救助できる腰掛式担架を5Fに設置している。
- ・保健室に折り畳み式の簡易ベッドを導入し、受入れ人数を増やした。常備薬も定期的に補充されている。
- ・ミシンや製図盤などの機器は年に1～2回専門業者がメンテナンスを行い必要な修繕を実施している。
- ・昼食時に発生するゴミに対して、エレベータ前に昼食時専用のごみ箱を設置している。

#### 今後の改善方策

- ・入学者の増加を受け、今後の就職先を広げておく必要がある。従来からの就職先とのパイプを確保しつつ、インターンシップ先の新規開拓も行っていく。
- ・水滴除去器具の前に学生が並びやすい。追加導入を検討する。

#### 学校関係者 評価コメント

- ・特にグラフィックデザイン科の人数が多くなり、就職先の確保が心配である。
- ・入社後すぐに辞めてしまう卒業生もいるので、そのフォローもできると良い。
- ・環境整備が適切に行われている。さらに学校周辺の緑化充実にも注力して潤いのある環境にしていきたい。
- ・ハード、ソフト面などインフラ整備が適切になされ、良好な就業、就労環境が整えられている。
- ・入学者増加に伴う更なるニーズへも（教職員の負担は増えると思うが）しっかりとした対応が必要である。

学校関係者評価平均

4

### (6) 学生の募集と受け入れ

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4
6-2	募集要項の内容は適切か	4
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	4
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	4

学校自己評価 平均

4

#### 成果と課題

- ・学生募集については教職員一丸となって取り組んでおり、広報資料・募集要項の内容等は適切に記載されている。
- ・学校説明会は4月から12月まで毎月開催し、オープンキャンパス(体験入学)は3月から9月まで年間10回開催した。内容はその都度学科内で検討し、集客に努めた。オープンキャンパス参加者からの出願率は前年並みとなった。
- ・学科ごとに入学者のバラつきが発生したが、前年比113%の学生が集まり、全体としては定員を超える入学生数を確保することができた。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内での Twitter 等の SNS の活用が浸透し、高校生への広がりを見せた。募集活動に効果的に機能した。</li> </ul>
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員未達の学科を重点フォロー学科とし、学科の魅力と募集戦略を再考し、安定した定員確保を目指す。</li> <li>・18歳人口が減少する中、反応者の獲得につながる積極的なアクションを起こしていく。</li> <li>・一度接触した反応者をより来校や出願に結び付ける適切なフォローを心掛ける。</li> </ul>
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校1、2年生は意識が薄いですが、3年生になる前にもっと本校のことを知ってもらいたい。</li> <li>・定員未達学科の募集情報を県外にも広げていく取り組みを充実させると良い。</li> <li>・入学希望者に対しては、学校の独自性や、魅力などの強みを打ち出したり、将来の就職に向けた展望が拓けたりするような広報活動が望まれる。</li> <li>・オープンキャンパスや SNS を活用した高校生へのアプローチが、定員を超える入学者確保につながっている。</li> <li>・SNS については、今後 Twitter、HP などコンテンツによる使い分けが必要である。</li> </ul>

**学校関係者評価平均** 4

### (7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	4
7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	4
7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	4
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
7-8	運営組織や意志決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	4
7-9	人事、給与に関する制度は整備されているか	4
7-10	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
7-11	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
7-12	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
7-13	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
7-14	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
7-15	財務について会計監査が適正に行われているか	4
7-16	財務情報公開の体制整備はできているか	4
7-17	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
7-18	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
7-19	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
7-20	自己評価結果を公開しているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3.95</span>

成果と課題

- ・学校法人全体を統括する理事会・評議員会は年3回、5月・9月・2月に定期的実施され、議事録は適切に作成され、管理されている。
- ・就業規則などの諸規定は整備されており、一部抜粋が規定集として全職員に配布され、またすべての規定集につい



<p>ては電子化されており、教職員がパソコンの画面で自由に閲覧できるよう整備されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織間の連携は、校長会及び4つの部会（進路、企画、教育、広報）と中期計画策定委員会を中心に十分な連絡会が持たれている。事務局機能として専門学校事業室が機能し、全体の連携をさらに円滑にしている。</li> <li>・防災計画は年度ごと見直しを行い、防災マニュアルに反映し、非常時の危機管理対策について周知徹底している。</li> <li>・AEDは学校1F事務室に配置されており、全教員がAED講習を受講しAED操作の訓練を行っている。</li> <li>・個人情報は使用目的等を明示したうえで収集、利用、廃棄している。</li> <li>・セクシャルハラスメントにのみではなく広くハラスメント全般に対するようハラスメント委員会を設け、委員名や連絡方法、またハラスメントへの対応等を明記した文書を校舎内廊下に掲示している。校長室前には施錠した投書箱を設置している。</li> <li>・学園の財務情報はホームページ上に公開されており常時閲覧可能である。財務分析比率は適切な数値となっている。</li> </ul>
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の基幹システム（教務、広報、就職）が更新されるのを機に業務の効率化を図る。</li> <li>・新スタッフへの研修をしっかりと行い、円滑な組織運営に繋げる。</li> <li>・AEDについては定期的な講習を行い、非常事態に備える。</li> </ul>
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント委員会の告知が校内の目につきやすいところに掲示してあるのは良い。</li> <li>・授業に対する学生の評価を年に1回実施してはどうか。</li> <li>・ルールや環境整備、体制づくりは必須と思われるが、その運営こそが課題となる。</li> <li>・少子化の中で、学生募集の努力が効果を上げ、遠方からの問い合わせにもきちんと対応している。</li> <li>・学校評価報告書や財務情報等、ホームページを通して適切に公開されている。</li> <li>・教職員の評価が適切に行われている。非常時の対策について保護者に周知している。</li> </ul>

学校関係者評価平均

3.83

## (8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4
8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	4
8-4	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>4</b>

### 成果と課題

- ・『伝馬町イベント』、『ガールズウォーク』、『店舗ディスプレイ』、『クリスマスフェスタ』『サンタパレード』等地域のイベントに積極的に参加し、地域貢献を図っている。また、中学校からの依頼によるキャリア教育、高等学校から依頼によるデザイン関連体験授業等にも対応している。
- ・留学生の受入体制については、留学生担当を設け対応している。また、入国管理局への報告事項も適正に行われている。入国管理局より適正校であることの文書が届いている。
- ・ボランティア等の依頼については、校内掲示を行い、積極的に参加を募っている。『大道芸ワールドカップ』には多くの学生が参加している。

### 今後の改善方策

- ・様々な活動へ積極的に参加する学生を支援する体制を学内に整える。

#### 学校関係者 評価コメント

- ・ボランティアは参加する学生と全く参加しない学生に分かれてしまいそうである。学業以外でコミュニケーション能力の力がつくといい。
- ・近年プラスチックゴミが問題となっているので、減量対策についてデザインという切り口で取り組んでいただけるとありがたい。
- ・地元の自治会向けに年1回程度、学校の活動報告（回覧板等）をしていただけると良い関係が築ける。
- ・現在展開している社会貢献・地域貢献への活動は、就活にも有益なので高く評価できる。
- ・グローバル化が進む中、アジアを中心とした海外にも目を向けたい。入学者だけでなく、コラボ相手や就職先などとして今後のニーズが高まると思われる。
- ・教育活動や教育成果にも見られるように、課外活動や、コンテストに積極的に取り組んでおり、社会への認知度も高まってきている。
- ・静岡市内の大型イベントに多数参画しており、地域連携の強さを感じる。
- ・地域のイベントに参加することで学生のうちから地域貢献、社会貢献を意識できて良い。

学校関係者評価平均

4